

日本庭園学会ニュース

The Academic Society of Japanese Garden News

NO.116

令和6年(2024年)

速報！ 令和6年度(2024)
日本庭園学会全国大会 開催情報

発行 日本庭園学会(会長 大澤 伸啓)
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
東京農業大学 地域環境科学部
造園科学科 庭園技法材料科学研究室
TEI(03)-5477-2428(粟野 隆 理事)
<http://www.jgarden1992.jp/index.html>

大会テーマ 「文化財庭園の整備・再整備」

1. 全国大会概要

主催：日本庭園学会 共催：平泉町教育委員会

【日程】

6月1日(土)

現地検討会(毛越寺庭園等)、情報交換会

6月2日(日)

公開シンポジウム、理事会・総会、日本庭園学会賞授賞式・学会賞受賞者講演、研究発表会

【会場】

平泉町学習交流施設エピカ

〒029-4102

岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山 25-3

電話：0191-34-6656

<アクセス>

JR平泉駅より徒歩4分



会場付近地図

2. 大会趣旨

テーマ：「文化財庭園の整備・再整備」

近年、かつて保存整備された文化財庭園の再整備が各所で行われています。今回会場となる平泉町では、毛越寺庭園の再整備が進行しています。このような再整備がなぜ必要なのか、どのような方針に基づいて実施しているのか、いくつかの事例に基づいて考察します。また、最近行っている文化財庭園の保存整備事業に関して、整備に対する考え方、名勝との関係について等、いくつかの事例をもとに考察します。

3. 大会プログラム

【6月1日(土)】

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| 09:30 | 事務局集合(毛越寺庭園) |
| 10:00 | 毛越寺庭園集合
(拝観料は各自支払って門の中で集合) |
| 10:00～16:00 | 【現地検討会】
毛越寺庭園、観自在王院庭園、
無量光院庭園等 |
| 16:00～17:00 | 平泉町担当者の補足説明及び
見学者からの質疑応答 |
| 18:00～20:00 | 情報交換会(ホテル武蔵坊) |

【6月2日（日）】

- 08:30～ 受付開始
(平泉町学習交流施設エピカ)
- 09:00～ 【公開シンポジウム】
開会挨拶・主旨説明・登壇者紹介
- 09:10～09:40 事例報告(1) 大友氏館跡庭園
五十川雄也(大分市教育委員会)
- 09:40～10:10 事例報告(2)
平城京左京三条二坊宮跡庭園
小野健吉(大阪観光大学)
- 10:10～10:40 事例報告(3)
平泉町における文化財庭園の
整備・再整備
島原弘征(平泉町教育委員会)
- 10:50～12:00 【パネルディスカッション】
司会：大澤伸啓・杉本 宏
パネラー：小野、五十川、島原
- 12:00～13:00 昼食休憩・理事会
- 13:00～14:00 総会・日本庭園学会賞授賞式・
学会賞受賞者講演
- 14:00～ 【研究発表会】
- 14:00～14:20 研究発表1
斎藤 馨(東京農業大学)ほか
- 14:20～14:40 研究発表2
鈴木 誠
(東京農業大学グリーンアカデミー)
ほか
- 14:40～15:00 研究発表3
加藤寛子(台東区教育委員会)ほか
- 15:00～15:20 休憩
- 15:20～15:40 研究発表4
山沢清一郎(カレンフジ)
- 15:40～16:00 研究発表5
森 泰規(博報堂)
- 16:00～16:20 研究発表6
マイケル・シャピロ
(植彌加藤造園)

16:20～16:40 研究発表7
鈴木 誠
(東京農業大学グリーンアカデミー)
ほか

16:40～ 閉会挨拶／閉会／会場復旧

***研究発表は発表15分・質疑5分です。**

4. 大会参加の申込み

- (1) 大会参加費＋資料代(シンポジウム・研究発表資料集)
参加費は次表の通りです。参加されるプログラム等によって参加費が異なりますので、充分ご確認のうえ、お申込み頂きますよう、よろしくお願いいたします。

	会員	学生会員	非会員	平泉町 町民の皆さん
参加費	2,000円	1,500円	3,000円	無料
現地検討会 拝観料	当日各自負担			
資料代	参加費に含む			1冊につき 1,000円

*いずれか1日のみの参加であっても、参加費は同じです。*町民の方は、無料で聴講できます。ただし、発表資料集を購入される場合は、1,000円のお支払いが必要になります。

- (2) 大会発表資料集
大会発表資料集を別途購入される場合、1冊1,000円となります。
- (3) 2日目/公開シンポジウムのみ参加は参加費無料となります。ただし、資料代は別途1,000円となります。
- (4) 申込方法
事前申込制かつ、参加費前納制(振込)となります。大会参加の申込みは事前にEメールまたは郵送、FAXのいずれかの方法で「令和6年度(2024)日本庭園学会全国大会参加申込記入表」をご参照のうえ、お申込みください。①氏名、②会員・非会員・学生会員の別、③当日に連絡可能な携帯電話番号を明記ください。

2日目の公開シンポジウムのみ参加は当日会場にて受付ます。

*別紙参加申込記入票をご利用頂くと便利です。ご活用ください。

(5) 情報交換会（ホテル武蔵坊）の会費は当日徴収します（参加費は6,000円程度）。

申込み期限：

令和6年（2024）5月21日（火）

■申込み先：

〒156-8502

東京都世田谷区桜丘1-1-1

東京農業大学地域環境科学部造園科学科

庭園技法材料学研究室内

日本庭園学会事務局

電話 03-5477-2428

FAX 03-5477-2625

Eメール teiengakkai@gmail.com

■問い合わせ先：

栗野 隆（日本庭園学会全国大会運営委員会副委員長）

Eメール t3awano@nodai.ac.jp

電話 03-5477-2428

■大会参加費振込先

大会参加の方は以下の振込先に参加費をお振込みください。

<参加費振込先（郵便振替）>

・加入者名：日本庭園学会

・口座番号：00140-3-659842

大会参加者の参加費振込期限：

令和6年（2024）5月21日（火）

令和6年度（2024）日本庭園学会 全国大会研究発表の概要

高精度庭石 3D モデル化による日本庭園デジタルツインの検討

斎藤 馨・栗野 隆・國井洋一・張平星（以上、東京農業大学）・檜山 敦（一橋大学大学院）

【概要】オンラインのサイバースペースに実物都市そっくりで双子のような3次元形状データ（以下3Dモデル）を整備するデジタルツインが開始され、都市内日本庭園についての3Dモデルが必要となった。これまで庭石の3Dモデルは実物と見間違うほどに製作することはできなかった。今回ハンディ・レーザー・スキャナを用いて、mm単位精度での自然石3Dモデル化の試みを報告すると共に、メタバース内の日本庭園モデルのありようについてその可能性と課題を整理した。

国際社会における姉妹都市日本庭園と姉妹庭園の意義と役割

鈴木 誠（東京農業大学グリーンアカデミー）・安井玲子（鷺鳳園 / Japanese Friendship Garden of Phoenix）・牧田直子（南九州大学）

【概要】1955年から始まる日本の自治体と外国の自治体との「姉妹都市」と呼ばれる協定は、2023年7月現在1809件にのぼる。また、公開されている海外の日本庭園の数は635（2023.4）で、このうちの約3割が姉妹都市関連による造営である。しかし、姉妹都市日本庭園の抱える課題は多く、姉妹都市でも海外の日本庭園がうまく維持運営管理されずにいることも多い。近年、姉妹都市提携のみならず姉妹庭園といった彼我の個別庭園による連携協定を結ぶ事例が増えてきた。この実態、また姉妹都市と姉妹庭園という二つをもつ姫路市・フェニックス市の事例からその意義と役割についてまとめた。

榊原家池之端屋敷跡と岩崎家茅町邸を考古学する
加藤寛子（台東区教育委員会）・加藤元信（文京区役所文化資源担当室／文京ふるさと歴史館）

【概要】旧岩崎邸庭園は、貝塚を伴う縄文時代の集落遺跡が占地し、江戸初期には江戸城の

鬼門の守りとして徳川四天王の一画を担った榊原家の池之端屋敷が置かれた。幕末維新を経て、明治年間から第二次世界大戦の敗戦まで、旧三菱財閥の創始者である岩崎彌太郎と長男、久彌の本邸となった。近年の旧岩崎邸内で実施された邸内の発掘調査成果などから榊原家池之端邸と、岩崎家池之端邸について考える。

『造園概論』に記された理想的造園分業の現在に関する考察

山澤清一郎（カレンフジ）

【概要】田村剛は大正7年の『造園概論』において将来的に複雑化していこう造園業は分業・細分化を図り、専門性を高めていくことが理想的であるとしている。奇しくも現代の造園業は田村の理想像に近い分業を図ってきているが、一方で専門性を持つ造園家の養成という点では未だ明るい兆しが見えていない。本論では、田村が示した分業形態と現状を照合した上で、建築的庭園を中心にその問題点を明確にすることで将来的な造園家の育成・教育の一助とすることを目的とする。

文化資本としてのガーデニング

森 泰規（博報堂）

【概要】弊社が1992年から隔年で東阪の生活者に対し実施する大規模自社調査『生活定点』で、「家の設備や機器に「ガーデニングなど趣味が楽しめる設備」を望む声は過去平均して2割程度を維持する。そこで、趣味は階級を刻印すると述べ、趣味こそは特定個人の社会階層を特定とするブルデューの文化資本論の枠組みに基づき、ガーデニングが幸福度・年収といった「達成」についてどのように関係するかどうかを検証し報告する。

『清泉』というキーワードを通じて七代目小川治兵衛（植治）の作庭観を探る：日本語文献と英語文献による植治研究

マイケル・シャピロ（植彌加藤造園）

【概要】本発表は、近代京都で数多の名庭園を作ったことで有名な七代目小川治兵衛（植治）の作庭観を探るものである。その方法として、日本語文献を筆者がこれまで収集してきた、植治の作庭活動に言及した英語文献と照らし合わせ、その比較から浮かび上がってくる植治の全体像を解明してみる。具体的には、「清泉」というキーワードに着目し、それが植治の庭園観とどのように結びついているかを明らかにしたい。

日本庭園に関する情報交換ツールとしての SNS

鈴木 誠（東京農業大学グリーンアカデミー）・松永高明（Japanese Garden TV 運営者）

【概要】近年、世界中で利用が増加するソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を通じた日本庭園情報の発信・受益の意義について検討した。日本の庭を訪ね・楽しむ庭園愛好家の視点から運営され庭園紹介数2000件以上を実施している「おにわさん」。日本の庭を造り手の視点からインターネット上で155件の動画で紹介する Japanese Garden TV。この他にも数多くのサイトが、日本庭園に関連した情報発信を SNS 利用にて行っている。ここでは NAJGA2024（2024年3月）にて議論された日本庭園関連 SNS の現状と課題、そして展望について報告する。

【会費納入のお願い】

学会費の納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願ひします。また、過年度滞納の方は併せて納入のほどよろしくお願ひします。

協力者：森本・細井（植彌加藤造園株式会社）

日本庭園学会 広報委員会

今江秀史、加藤友規

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-1

京都芸術大学日本庭園研究センター気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342